

ふくし

題字 / 日展会友 井野吟紅氏

赤い羽根共同募金運動に協力してくれた、高浜小学校の生徒のみなさん。
今年またくさんのみなさんの協力に支えられながら、活動をしています。
今後のイベントでの募金活動予定や、作品コンクール[※]の優秀作品展示のお知らせは、2ページへ。





赤い羽根共同募金



ご協力をお願いします



今年も10月1日より、全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

高浜市でも町内会を通じた戸別募金、市内の法人による募金、子どもたちの通う学校での募金や協力店舗における募金箱の設置など、地域の皆様にご協力いただきながら活動をしています。

また、新型コロナウイルスの感染対策をしながら、街頭やイベントでの募金活動も実施しています。お近くにお立ち寄りの際は、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

今後のイベント募金スケジュール

日付	場所	時間
12/1 (水)	Tぽーと (東玄関前)	10:00 } 12:00
12/4 (土)	おとうふ工房いしかわ 朝市 (いしかわ 駐車場)	7:00 } 9:00
12/11 (土)	Tぽーと (東玄関前)	10:00 } 12:00
12/18 (土)	オニルミ (森前公園)	15:00 } 17:00



募金会場には、赤い羽根共同募金マスコットキャラクターのあいちゃんも遊びに来ます！



高浜小学校の児童も、困っている人の支えになろうと、今年も募金活動に協力してくれました。



第73回 赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール 入賞作品を展示しています



今年度も児童生徒作品コンクールに、たくさんのご応募いただきありがとうございました。

作品コンクールは小・中学生を対象に、書道やポスター作成を通じて、安心して暮らせる地域にするための赤い羽根活動や、地域福祉、社会福祉に対する理解を一層深め、たすけあいの心を育成するために毎年実施されています。

ご応募いただいた作品の中から、優秀作品を下記の日程で展示致します。

展示期間	時間	場所
令和3年12月 1日(水) } 令和3年12月28日(火) ※日曜・祝日は除く	【平日】 8:30~21:00 ※最終日は~15:00まで 【土曜日】 8:30~17:00	いきいき広場 2階 ロビー 愛知県高浜市春日町五丁目165番地

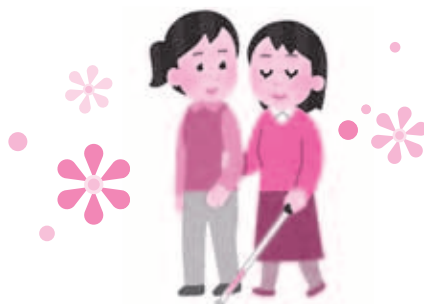


視覚障がいの方への理解を深めよう

～はじめてのガイドヘルプ講座～

視覚障がいの方が、皆さんと共に安心して暮らしていくためには、障がいへの理解が不可欠です。そこで、「ブラインドガイドボランティア シクラメンの会」と共催で、視覚障がいの方の気持ちを知り、日々の生活について理解を深めていただく講座を開催します。具体的には、アイマスクをつけて食事体験、移動支援方法（ガイドヘルプ）について学びます。

- 日時**：令和4年2月13日（日）10時00分～15時30分（受付9：30～）
- 場所**：いきいき広場2階いきいきホール（高浜市春日町五丁目165番地）
※お越しの際は、いきいき広場立体駐車場をご利用下さい。当日受付で、駐車券をご提示いただくと無料になります。
- 対象**：どなたでも
- 定員**：15名
- 参加費**：450円（お弁当代）
- 申込期間**：令和4年1月31日（月）まで
- 申込方法**：下記の電話・窓口・Eメールにてお申込ください。



スケジュール

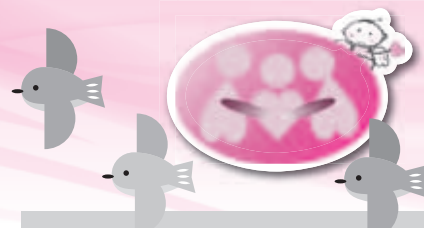
時間	内容
10：00～10：05	あいさつ
10：05～11：00	座学（講義）講師：山本英毅氏（視覚障害リハビリテーションワーカー）
11：00～11：10	休憩
11：10～11：30	座学（ビデオ鑑賞）
11：30～12：10	★屋外体験 基礎編（階段、車昇降）
12：10～13：00	昼食（アイマスク体験）
13：00～15：00	★屋外体験 応用編（大山公園へ移動）
15：00～15：15	視覚障がいを持っている方の体験談
15：15～15：30	アンケート記入・ボランティア団体紹介
15：30	終了

- ※ ★は、2人一組になり、一人がガイドヘルプ、もう一人がアイマスクを装着して視覚障がいの方の体験を交代して行います。
- ※ 講座終了後、実際に活動してみたいという方は、ボランティア団体「ブラインドガイドボランティアシクラメンの会」にご参加ください。主に視覚障がい者へのガイドヘルプや市内小学校の福祉実践教室でガイドヘルプをお伝えする活動を行っています。
- ※ 新型コロナウイルスの状況によって中止になる場合があります。
- ※ 検温やアルコール消毒・外出時の手袋着用等、感染予防対策をとって開催します。
- ※ 当日体調が悪い方は、ご参加をお断りすることがありますのでご了承下さい。

申込み
問合せ

高浜市社会福祉協議会 ボランティアセンターてとてとて

電話：0566-52-9882 FAX：0566-52-4100 メール：tetotetote@takahama-shakyo.or.jp



コロナ禍でも精力的に活動する2グループをご紹介します。

たかはまおもちゃ病院

【活動内容】

壊れたおもちゃの修理を通じて、子どもたちに物を大切にすることをはぐくむ活動を行っています。グループ設立の2009年から修理してきたおもちゃは1,000件以上あり、8割が修理費無料で行っています。（材料費は必要により実費分を負担いただくことがあります）

おもちゃ病院に持ち込まれたおもちゃは「入院」し、活動メンバーが工作の経験を活かして相談しながら楽しく直しています。

代表の岩月さんは、メンバーとの交流や、自分たちの知識・技術・アイデアで子どもたちが喜んでくれる姿をみるのが、原動力と話します。ぜひ一度見に来てください。



資源を有効活用し、壊れたキーボードを修理する様子

【活動日】 受付日：毎月第3土曜日 10：00～15：00

【活動場所】 高浜エコハウス

修理・返却日：毎月第4火曜日10：00～12：00

読書アドバイザー カタリーネ



おはなし会の様子。取材日は1組の親子が参加していました

【活動内容】

図書館で絵本の読み聞かせ（おはなし会）を行っています。感染対策のため現在は参加者を先着5組に限定して、間隔をとるなどの感染対策を行い、開催しています。

おはなし会では絵本の読み聞かせ、手遊びや歌を歌うなどしています。また季節にあわせた絵本や仕掛け絵本などボランティアおすすめの絵本を紹介しており、家族で楽しく過ごせる場となっています。また、外国語の絵本の貸出も行っています。

取材日にボランティア活動をされていた上田さんは、おはなし会を通じて、子どもたちが絵本に関心や興味をもってもらうきっかけになってほしいと話していました。

【活動日】 月曜日15：00～15：15（幼児・児童対象） 水曜日10：30～10：45（乳幼児対象）

金曜日10：30～10：45（乳幼児対象） 土曜日10：30～10：45（幼児・児童対象）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、お話し会は現在15分に短縮しています。

【活動場所】 高浜市立図書館 えほんの森

問合せ

高浜市社会福祉協議会 ボランティアセンターてとてとて

電話：0566-52-9882 FAX：0566-52-4100 メール：tetotetote@takahama-shakyo.or.jp

ボランティアコーディネーターってどんな人？



社会福祉協議会のボランティアセンターには、「ボランティアコーディネーター」という職員がいます。

どんな仕事をしているのでしょうか。日本福祉大学の実習生の諸町さんが、ボランティアコーディネーターの木屋さんと佐久間さんにインタビューをしました。

ボランティアコーディネーターの8つの役割

- ①受け止める：市民・団体からの多様な相談の受け止め
- ②求める：活動の場やボランティアの募集・開拓
- ③創り出す：新たなネットワークづくりやプログラム開発
- ④つなぐ：調整や紹介
- ⑤高める：気づきや学びの機会の提供
- ⑥集める：情報の収集と整理
- ⑦まとめる：記録・統計
- ⑧発信する：情報発信・提言・アドボカシー

参考：認定NPO法人 日本ボランティアコーディネーター認定協会HP <https://jvca2001.org/>



ボランティアコーディネーターの木屋さん（左）と実習生の諸町さん（右）

ボランティアコーディネーターにはどんな役割がありますか

ボランティアをしたい人の「手」をとり、どのようなことを行いたいのか丁寧に聞き取りをした後、その方に合ったボランティアを紹介したり、ボランティアをして欲しい人の「手」を取り、ニーズに合ったボランティア団体を紹介したりします。

ボランティアコーディネーターにはそれぞれの「手」と「手」を結びつける役割があります。

コーディネートをしていて良かったことは何ですか

ボランティアをしたい人の「手」とボランティアをして欲しい人の「手」が上手くマッチング出来た時、「ありがとう」「良かったよ」と双方の笑顔が見られたり、施設からお礼の手紙を頂いたときに喜びを感じられます。

スムーズにコーディネートするために工夫していることはどのようなことですか

申請時の聞き取りを丁寧にいき、常にボランティアをしたい人、して欲しい人の「手」同士をうまく結びつけられるよう、日々、各ボランティア団体の人に連絡をとるようにしています。また、年に1回井戸端会議を行い、ボランティアさん達が楽しく活動出来るような取り組みをしています。

インタビューから学んだこと

ボランティアコーディネーターの方々には、温かな人柄が魅力で、ボランティアに関わる全ての人のことを考えながら活動されていました。私自身これまで、ボランティアをして欲しい人の「手」を支援することばかり考えていましたが、ボランティアをしたい人の「手」にも支援が必要であるということに気づき、広い視野をもって支援することの大切さを学びました。

令和4年
4月採用

ボランティアコーディネーター募集

- 業務内容／ボランティア活動をしたい方とボランティア活動をお願いしたい方を繋ぐコーディネートや、ボランティア活動活性化のためのイベント企画等を行う仕事です。
- 勤務／週2日 9:00~12:00または13:00~16:00（勤務日・時間は相談可）
- 勤務地／高浜市社会福祉協議会（高浜市春日町五丁目165番地 いきいき広場3階）
- 資格／普通運転免許（AT限定可）必須
- 待遇／雇用保険・社会保険 加入



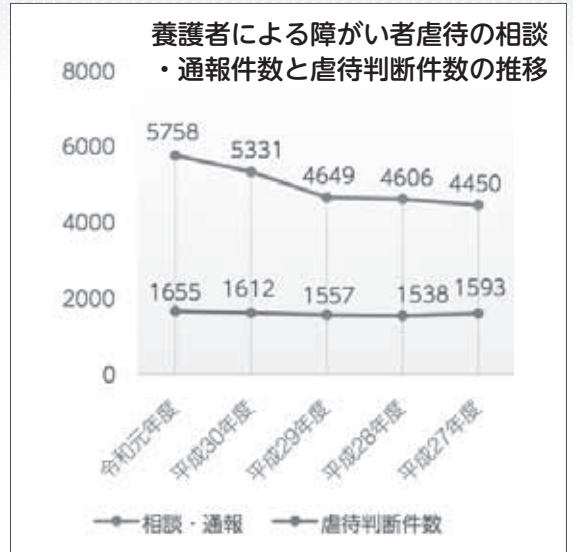
みんなで権利擁護を考えよう!

～養護者による障がい者虐待～

平成27年度から令和元年度までの虐待相談・通報件数は伸びており、虐待判断件数も少しずつですが増加しています。

令和元年度の虐待相談件数5,758件の内、虐待の事実が認められた事例は1,655件、被虐待者数1,664人、虐待者数1,835人※となっています。

※平成30年度に通報・届出があった事例を含む



養護者とは？
「障害者を現に養護する者であって障害者福祉施設従事者等及び使用者以外のもの」と定義されており、身近の世話をしている家族、親族、同居人等が該当すると考えられます。

虐待者と被虐待者の特徴【令和元年度】

- 【虐待者（1,835人）】
- ・男性…63.6% 女性…36.3%
 - ・続柄…父 26.8% 母…23.2%
兄弟 12.9% 夫 11.9%
- 【被虐待者（1,664人）】
- ・男性 37.3% 女性 62.3%
 - ・障がい種別（重複あり）
 - 知的障がい 53.2% 精神障がい 36.4%
 - 身体障がい 18.5% 発達障がい 3.1%

- 虐待者の割合は、父・母ともに20%を超えています。
- 続柄では被虐待者の年齢により、虐待者の続柄が変わる傾向があります。
- 被虐待者の性別は女性の割合が高く、虐待者は男性の割合が高い傾向があります。
- 被虐待者の障がい種別は知的障がい半分以上を占めており、次いで精神障がいの割合が高くなっています。

虐待の要因

- ・虐待者が虐待と認識していない…46.1%
- ・虐待者の介護疲れ…20.1%
- ・被虐待者の介護度や支援度の高さ…21.6%
- ・虐待者の知識や情報の不足…23.4%
- ・家庭における被虐待者と虐待者の人間関係…38.3%

障がい者虐待の要因としては、虐待者が虐待と認識していない場合が一番多く、被虐待者も虐待を受けている認識が無い事もあります。客観的に本人の権利が侵害されていると思われる場合は、虐待の可能性があります。また、虐待者が障がい特性の知識や情報の不足により、適切な接し方ができなかったり、日々の関わりの中で介護疲れやストレスを抱えたりして、過度な負担がかかっていることも要因のひとつと考えられます。



障がい者虐待は、虐待者に自覚がない場合や、障がい者自身がSOSを出せないことが考えられます。

周囲が虐待のサインを見逃さず、通報や相談をすることで虐待を防ぐことに繋がります。

高浜市障害者虐待防止センター（いきいき広場内）0566-52-9871

窓口時間：月～金 午前8時30分～午後7時（土、日、祝日は午後5時15分まで）

参考：厚生労働省ホームページ 障がい者虐待防止関連ページ

地域へのあたたかいご支援 ありがとうございます

医療従事者の方（高浜豊田病院）への支援



10月6日 高浜市立高取小学校の子どもたちが、「タオル」に全校児童のメッセージを添えて、高浜豊田病院に寄贈を行いました。

この取り組みは、児童会が中心となり、新型コロナウイルス対策で尽力されている医療従事者の方への感謝と少しでも力になりたいと考えのもと、全校児童に募金とメッセージの協力を呼びかけ、授産所高浜安立からタオルを購入し、高浜豊田病院にプレゼントしました。

高浜豊田病院の方は、全職員分のプレゼントとメッセージをうけとり、非常に喜ばれていました。

宅老所の食事作りへの支援



高取地区で、高齢者が楽しく日中を過ごせる居場所「宅老所 悠遊たかとり」の運営にご協力いただいているNPOたかはま・悠遊会の代表 杉浦勝利さんより、300kgの新米を市内の宅老所にご寄付をいただきました。

ご寄付いただいたお米は、食事作りボランティアさんがつくってくださる宅老所の昼食に活用させていただきます。ありがとうございます！

地域の福祉活動への支援



1月4日 ㈱ジェイテクト 田戸岬工場より防災備蓄用食品〔飲料水1128本、アルファー米1200食〕を高浜市社会福祉協議会へ寄贈していただきました。

この取り組みは、社会貢献活動の一環として、防災備蓄用食品の入れ替えで生じる食品（賞味期限令和4年2月）を高浜市社会福祉協議会で生活困窮者への食糧提供等、地域の福祉活動にいかしてほしいという目的で、寄贈していただきました。ありがとうございます！

令和3年度 生活支援員養成講座

生活支援員は認知症や物忘れのある高齢者、知的障がい者・精神障がい者などの方が地域で安心して暮らしていくことができるよう、福祉サービスの利用援助・金銭管理・書類預かりなど日常生活を支援する活動をしていただく方です。

生活支援員については、まだまだ知られていないのが現状です。

そこで、生活支援員についてもっともっと知っていただき、その活動の担い手となっていただくための講座を開催します。ぜひ、ご参加ください。

- 日 時／令和4年1月28日(金) 13:30～15:45
- 場 所／いきいき広場1階 会議室B
- 申込期間／令和3年12月1日(水)～令和4年1月14日(金)まで
- 定 員／10名

※定員に達し次第受付を終了いたします。

講座内容

権利擁護支援センターより「権利擁護と生活支援員派遣制度」について説明します。その後、認知症や知的障がい及び精神障がいについて、地域包括支援センター、障がい者支援センター職員からの説明があり、生活支援員の役割を学びます。

また、現在活動されている生活支援員から支援の現状を話してもらい、活動内容をお伝えします。

※生活支援員として活動していただく場合は、高浜市社会福祉協議会と雇用契約を締結していただきます。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、研修を中止することがございます。

研修当日はマスク着用及びうがい、手洗い、消毒など感染予防対策をお願い致します。

風邪症状がある方は、研修に参加できない場合がございます。

申込み・問合せ

高浜市社会福祉協議会

電話：0566-54-5563 F A X：0566-52-4100 担当 鈴木、戸松

パート職員募集

保育士

- 時 間：7時30分～19時15分の間
(おひさまは8時～18時の間)
7時間45分勤務
- 休 日：日・祝・年末年始(週休2日)
- 勤務地：高浜南部保育園
中央保育園
家庭的保育おひさま
- その他：車通勤可(駐車場有)
雇用保険・社会保険加入

詳しくはHPを
チェック!!



ケアマネジャー

- 時 間：8時30分～17時15分
- 休 日：土・日・祝・年末年始
- 勤務地：高浜市社会福祉協議会
居宅介護支援事業所 (いきいき広場3階)
- その他：介護支援専門員
普通運転免許(AT限定可) 必須
処遇改善手当・資格手当 有

※ケアマネジャーの勤務経験がある方、歓迎します。
※勤務日・勤務時間については、ご相談ください(手当
額等は変更になる場合があります)。

善意をありがとうございました

日本スポーツウェルネス吹矢協会 高浜大鷲支部 支部長 伊豆 隆文、けんしん あやめ会、
十七人会、杉浦 勝利、マリオン高浜店 (50音順、敬称略)

広報紙「ふくし」
は財源の一部に赤
い羽根共同募金配
分金を受けて発行
しています。

編集 発行

社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地
TEL：0566-52-2002 FAX：0566-52-4100
E-mail：info@takahama-shakyo.or.jp

